

平成11年10月28日
原子力安全対策課
(11 - 111)
<17時30分記者発表>

新型転換炉ふげん発電所の原子炉手動停止について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、全出力運転中の平成11年10月27日22時38分、圧力管下部のシールプラグの冷却水漏えい（床面等への漏えいではなく、シールリーク検出器配管を通じて機器ドレン系で回収される）が発生したことを示す「リーク検出器Ⅰ漏洩量極大（設定値1200cc/h）」警報が発報した。

同日23時47分、同警報はリセットしたが、その後も、「リーク検出器Ⅰ漏洩量大（設定値300cc/h）」警報が断続的に発報し、漏えい量は300cc/h前後で推移した。

このため、漏えいしている圧力管のシールプラグを特定する作業を実施した結果、1体からの漏えいを確認した。このため、当該検出ラインの弁を閉止した。

今後、当該圧力管のシールプラグを点検調査するため、本日18時頃より出力降下を開始し、20時頃に発電を停止する予定である。

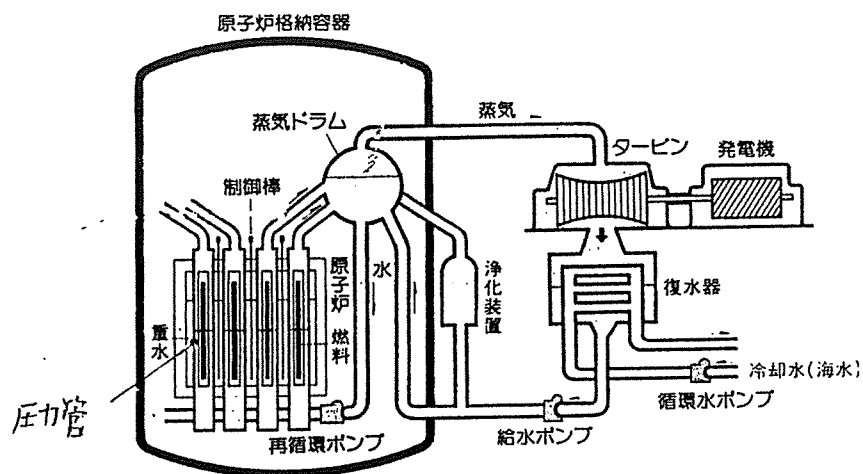
なお、本事象は、シールプラグのシール機能の低下であり、漏えいは、設備の検出器ライン内を流れており、環境への放射能の影響はない。

（参考）

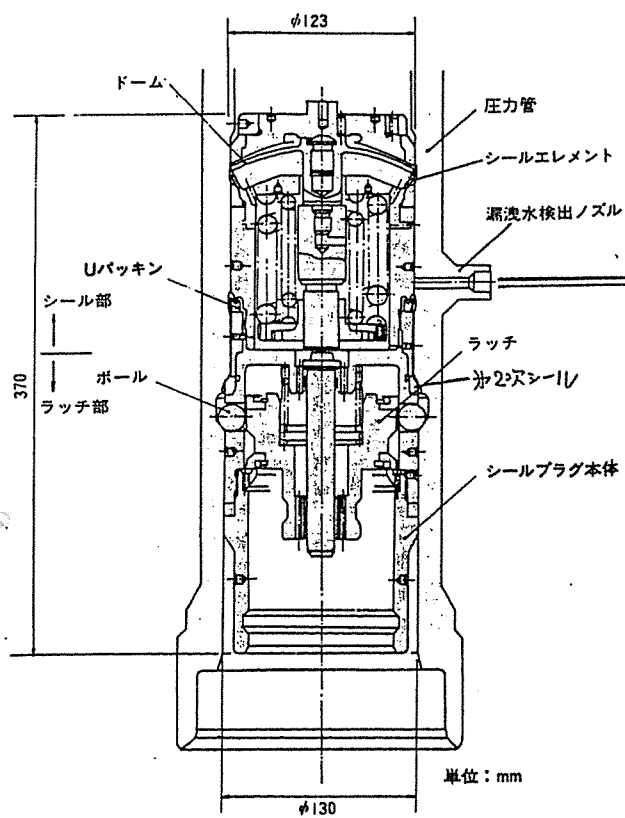
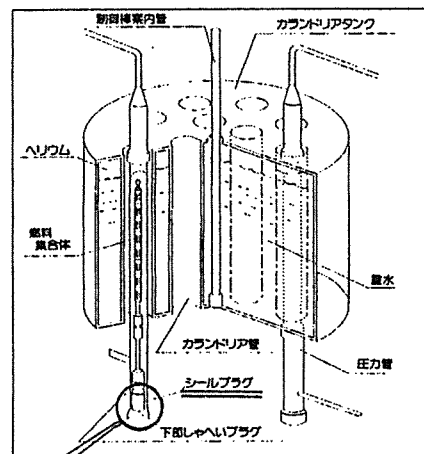
科学技術庁によるINESによる暫定評価尺度は0

INES：国際原子力評価尺度

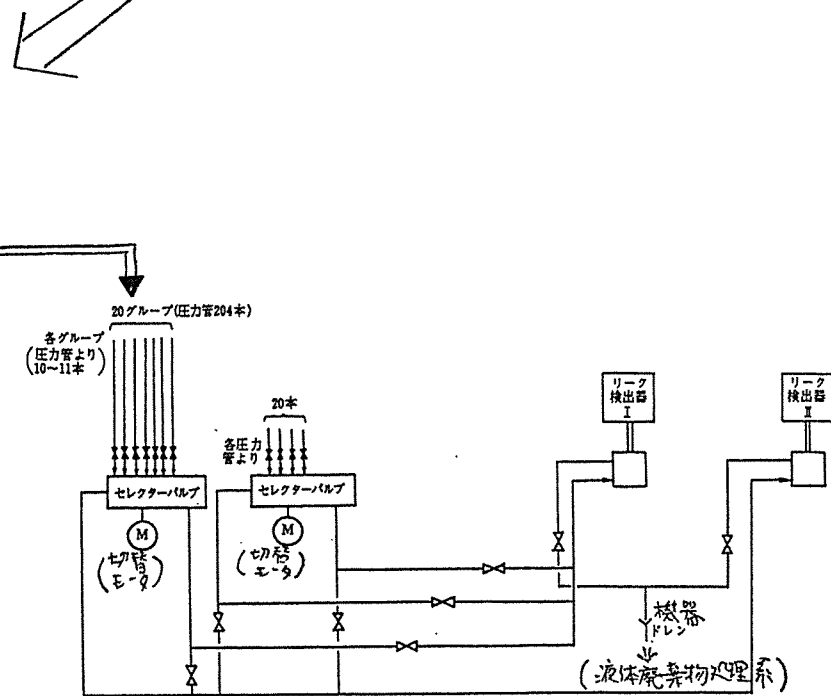
ふげん系統図



原子炉断面図



シールプラグの圧力管装着図



シールリーク検出装置系統図

核燃料サイクル開発機構ふげん発電所の手動停止について

平成11年10月28日

原子炉規制課

1. 発生日時 平成11年10月27日(水) 22時38分頃
(最初に警報が発報した日時)

2. 発生場所

核燃料サイクル開発機構 ふげん発電所

3. トラブルの状況

(1) ふげん発電所は本年8月1日に原子炉を起動し、電気出力16.4万kWeで運転中であった。

(2) 10月27日22:38頃、圧力管シールプラグ部からの冷却材の漏えいを示す警報が発生。

(3) 核燃料サイクル開発機構は、その後調査を行っていたが、より詳細な調査を行うため、本日18:00を目途に原子炉の出力降下を開始することとした。

4. 調査及び措置状況

原因については調査中。

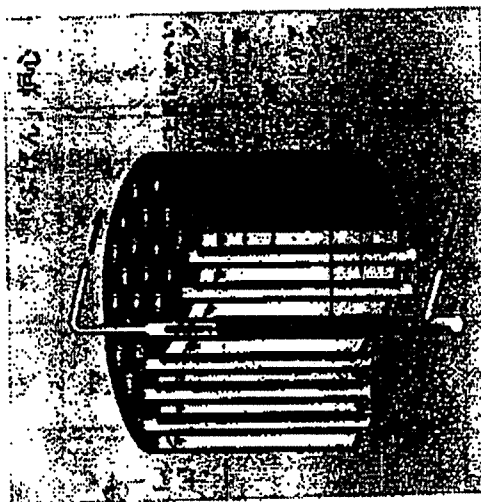
5. 影 響

周辺環境への放射能の影響はない。

6. I N E S 評価

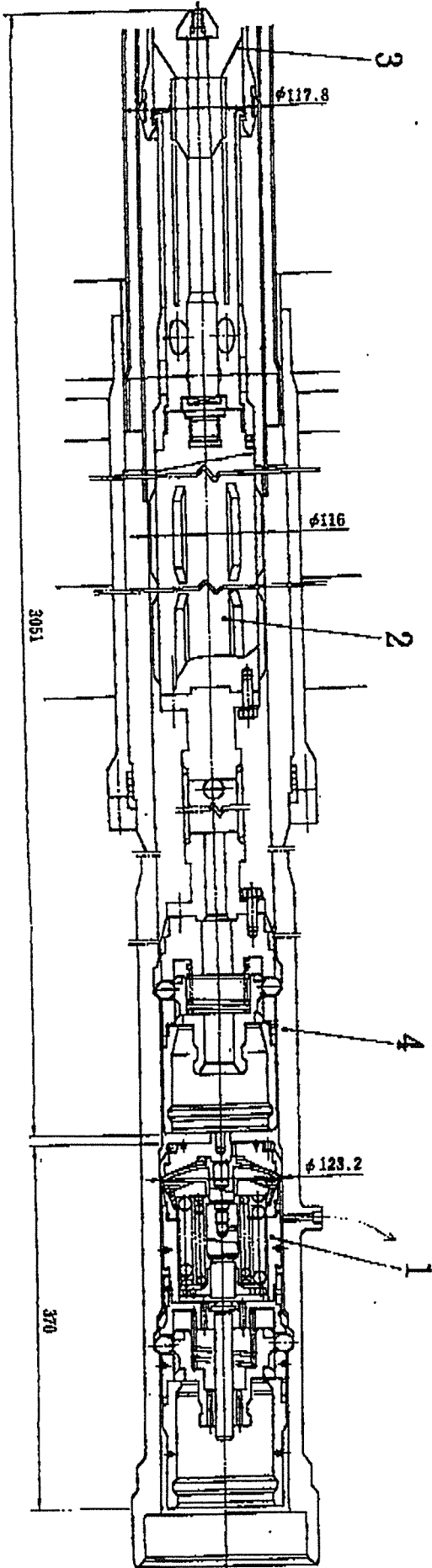
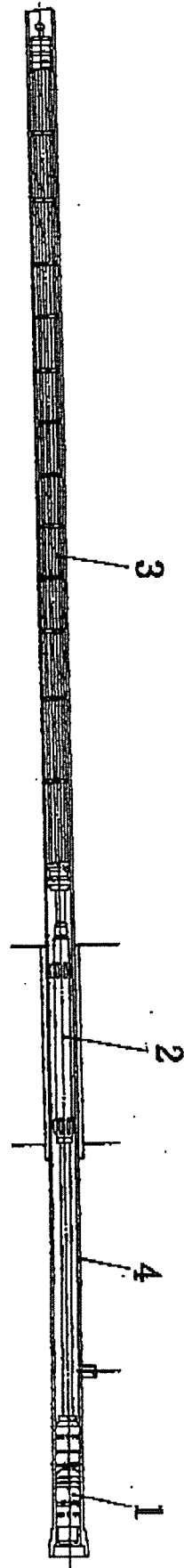
0

本件連絡先：原子炉規制課長 山 下 (内線820)



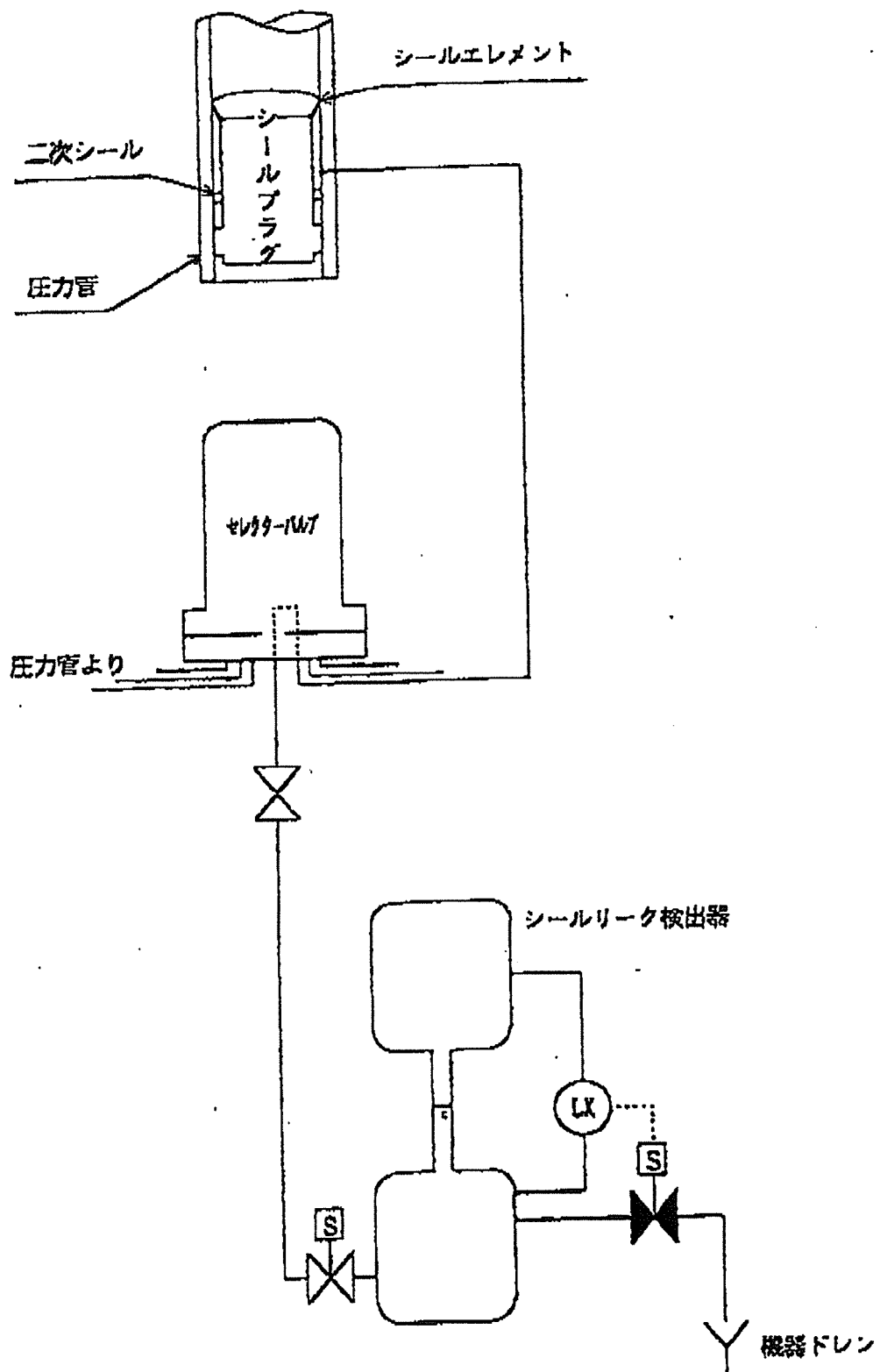
ふいざん概略図

上部

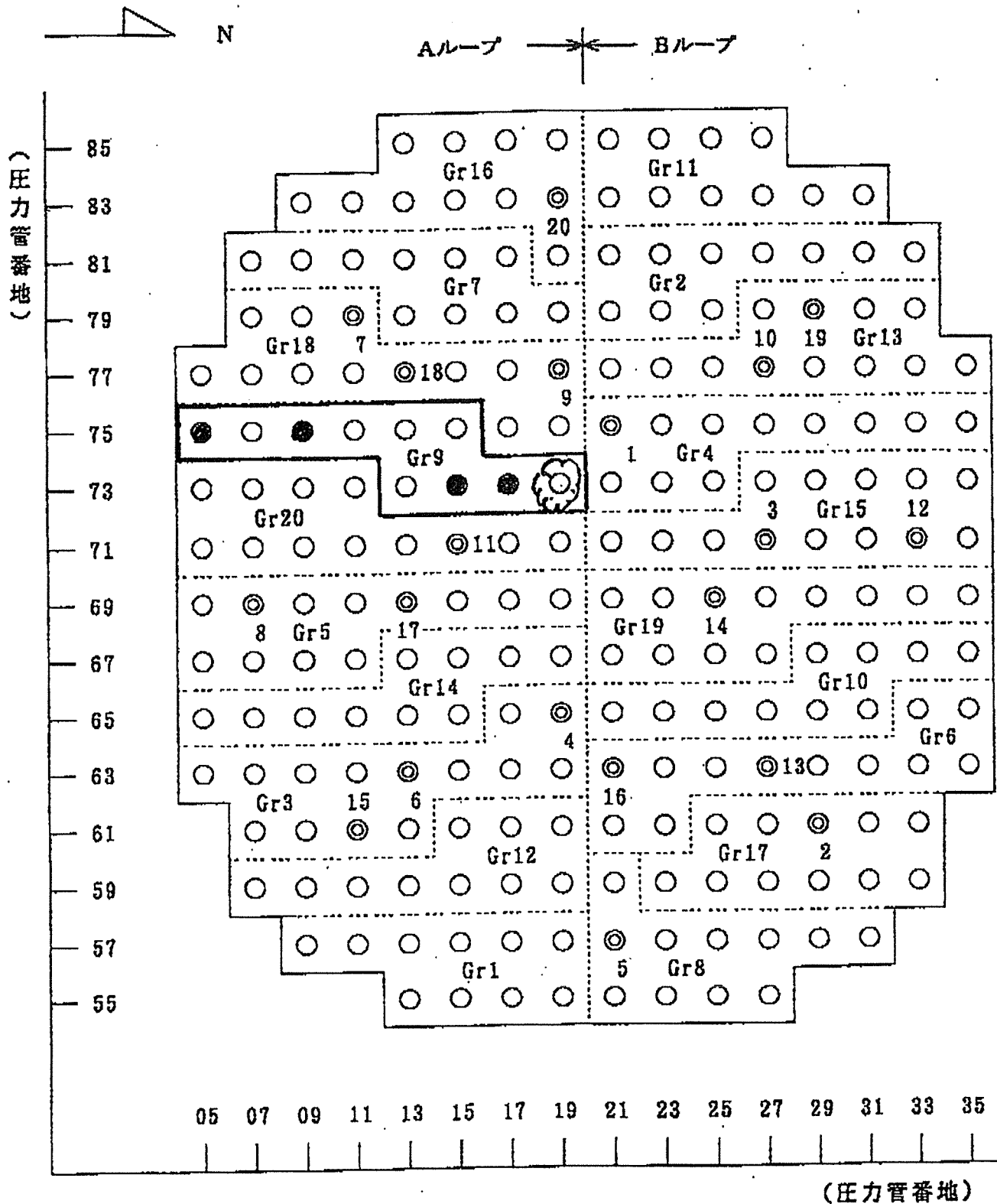


番号	名称
1	ソールナラゲ
2	下座部へいナラゲ
3	燃料集合体
4	圧力調整弁

ソールナラゲおよび下座部へいナラゲ



シールリーク検出系系統図



漏洩検出チャンネルの圧力管位置図